

令和3年度 事業計画

◇ 基本方針

秩父開発機構は、首都圏住民の余暇活動需要の適切な吸引を図り、秩父圏域等の振興に寄与することを目的に設立された第三セクターであります。

令和3年度においては、平成30年度に策定した中期経営計画（令和4年度までの5年間）に基づき、埼玉県より受託している秩父ミュージックパーク及び長瀬射撃場の指定管理業務を事業の柱とし各種事業を展開するとともに、新規事業の検討と既存事業の活性化に努め、経営基盤安定化と営業成績の向上を図ってまいります。

また、今年度の事業推進に際しては、新型コロナウイルス感染症の社会情勢を注視し、埼玉県の方針に基づいた対応を行います

1 指定管理業務 秩父ミュージックパーク

新型コロナウイルス感染症対策を含め、適切な管理運営に努めるとともに、モミジによる新名所づくりに向けた事業の推進、コンサート等の自主事業や大規模イベントの誘致、ホームページとSNSを活用した情報発信を行い、公園と地域活性化に向けた取り組みと、利用者サービスの充実を図り、利用者満足度80%以上を目指します。

(1) みどころ創出に向けた整備事業

① モミジによる新名所づくり

② 有害鳥獣の駆除

③ ヘメロカリスの保全

(2) 利用者サービスの提供

① コンシェルジュとしてのご案内サービス

② ユニバーサルサービスの充実

③ インバウンド対応

④ バリアフリー対応

(3) 市民活動の機会充実では

① 環境保全活動

② チューリップ1万本プロジェクト

(4) 幅広い情報発信ですが

① オリジナルホームページとSNSを活用した情報発信

② 公園パンフレット、イベントチラシ等による情報発信

③ 教育機関等と連携したチラシの配布、利用促進

④ 秩父ミュージックパーク連絡会議の運営

⑤ 地元FMにおける提供番組の放送

(5) 自主事業の実施

① 音楽堂・野外ステージ等を使った自主事業の実施

② 公園インストラクター事業

③ 園地を使った自主事業

④ 軽飲食店「ピエリア」の運営

⑤ 大規模イベント誘致

2 指定管理業務 埼玉県長瀬射撃場

設置目的である「射撃技能の向上と銃による事故の防止及び射撃競技の発展」のため、安全安心の管理運営と危機管理の徹底を図るとともに、コロナ対策を施した上、競技会・合宿等の誘致や技能講習、教習射撃などの自主事業に取り組みます。

(1) 安全・安心の確保

① 銃及び装弾による事故未然防止に向けた取り組み

・ 技能講習における銃の安全操作の徹底及び射手の技能向上促進

・ 場内巡回及び監視モニターによる安全確認

・ 射撃場内における取扱注意事項掲示

・ 受付窓口等における利用者への注意呼びかけ

・ 利用者への注意喚起書類の配布

・ 標的（電子標的）及び附属する設備、照明器具等の適切なメンテナンス

(2) 射撃大会及び合宿等の誘致

① 射撃大会等の開催

日本ライフル射撃協会、日本学生ライフル射撃連盟

東京都ライフル射撃協会、埼玉県ライフル射撃協会など

射撃団体、猟友会、銃砲店などが主催する大会の実施

及び、大学・高校の射撃部の合宿誘致

(3) 自主事業の実施

① 教習射撃及び技能講習の実施

② 銃保管業

③ ビームライフル教室・エアライフル、小口径ライフル初心者講習会

④ 合宿記録対抗戦

⑤ 安全狩猟射撃大会の実施

⑥ 長瀬周辺マップの作成

⑦ Tシャツなどのオリジナルグッズの販売

⑧ エアライフル空気充填サービス

3 観光振興事業

秩父地域の行政及び観光関連団体と一体となり観光キャンペーンなどに積極的に参加するほか、テレビ埼玉の情報番組「マチコミ ちちぶだより」の番組放映について、企画や情報提供を行うなど、秩父地域への誘客策に取り組みます。

(1) 秩父地域活性化への取組

① 「マチコミ ちちぶだより」の情報番組連絡協議会

② 観光キャンペーン等の誘客活動

③ 地域振興活動への参画

4 経営基盤安定化に向けた取り組み

秩父ミュージックパークにおいて平成30年度より着手している、モミジによる新名所づくりへの事業展開を推進することで、更なる地域振興と、将来継続して指定管理者として公園事業に従事することを目指します。

また、新規事業の検討と既存事業活性化策など見直しも行ってまいります。

(1) 秩父ミュージックパークの新名所づくりに向けた事業の推進

・ せせらぎ広場・梅園周辺、音楽堂周辺について重点的に整備

・ 黄紅葉祭（こうようさい）の実施

(2) 新規事業の検討、既存事業の見直し

・ 長瀬射撃場における銃販売の検討

・ 「三峯駐車場」についての考察